

見慣れた風景も
違って見えるかも

かすかべ親善大使 落語家
三遊亭 楽生さん

春日部市生まれ。埼玉県立春日部
高等学校を卒業。六代目三遊亭
円楽の一番弟子。本格的な古典
落語を演じ、声量の豊かさでメリ
ハリの利いた高座が特徴。

かすかべ親善大使 三遊亭 楽生さん さんゆうてい らくしょう

大落古利根川 ぶらり歴史散歩

私たちのまちを流れる大落古利根川。普段何気なく渡っているその橋
今回は、かすかべ親善大使の三遊亭楽生
知れば誰かに話したくなる川のロマンをひもとき

や川沿いの景色には、実は意外な歴史や文化の跡が隠されています。
さんが『春日部市史』をお供にぶらり散歩。
ます。さあ、一緒にお散歩に出掛けてみましょう。 問 文化財課 (TEL 048-739-6811)

今回
特集するのはココ
大落古利根川

参加交代の大名行列が通った場所。
当時のにぎわいに思いをはせて

● 川の駅ぶじつか

かつては私道で
通行料を徴収する買取橋だった

明治時代に牛島のフジを見に行く
観光客が人力車で渡った

日常に溶け込む 実は歴史スポット4選

1 海のない春日部に「砂丘」がある

砂丘(河畔砂丘)は、榛名山や
浅間山の火山灰などに由来する
大量の砂が古利根川にたまり、
冬の季節風によって吹き上げら
れてできたものです。全国的に
も珍しく、「小洲地区の浄春院」、
「浜川戸地区の八幡神社」など
で見ることができます。



よく遊んでいた
場所なのに
知らなかった!

3 昭和を代表する俳人、加藤楸邨

旧制粕壁中学校(現
現在の春日部高校)の教員
だった加藤楸邨は、
日本の代表的な俳人。
楽生さんの母校でも
ある春日部高校の校
内には句碑があり、そ
の思いを現在に伝え
ています。



サツマイモの産地である川越を指して「栗(九里)より(四里)う
まい十三里」という句が残っています。しゃれにセンスを感じま
すね。落語はそんな江戸時代の人々が作ったものを使わせても
らっている、聞いて、興味を持ってくれる人がいないと成り立たな

い芸能です。今でも春日部ではさまざまな場所で落語の会を開
いていただいています。春日部の皆さんのまちと文化を愛する思
いに助けられています。春日部出身者として、市民の皆さんが
春日部を誇りに思っているところが大好きです。



古利根川は
過去もこの先も
我々を見守って
っていると
感じます

2 荷物を積んだ上喜蔵河岸跡



新町橋の袂には、かつて
「上喜蔵河岸」と呼ばれた船
着き場がありました。江戸時
代の粕壁宿は、米穀問屋が多
く、古利根川の舟運を通じて
近隣の米穀の集積地として
栄えました。今も往時の石垣
が残っています。

4 薬師沼の大きさは洪水の爪痕



もともとは薬師堂がまつられて
いた小さな池。江戸時代に古利根川が
大洪水を起こし、激しい水の勢いで地
面がえぐられた痕跡がそのまま現在
の薬師沼になりました。今では市民の
憩いの場として釣りも楽しめます。

大落古利根川 Q&A

Q 川の名称に「古」とつくのはなぜ?

A 文字通り「むかしの利根川」の本流だった名残
江戸時代より前、利根川は春日部を抜けて東京湾へと注いでいま
した。その後、約60年におよぶ大工事「利根川の東遷」によって流れ
が東へ変えられたため、「古い利根川」と呼ばれているのです。

Q 「大落」ってどういう意味?

A 農業用の「大きな排水路(落とし)」だったから
江戸時代に利根川の流れを変える大工事が行われた後、
周辺の水田から水を引くための巨大な排水路(落とし)として
再利用された歴史が川の名称に残っています。

現在の利根川は
江戸川より
東側を流れて
いますね



昔の利根川は流路が定まらない暴れ川だった



江戸時代以前は、大雨が降るたびに蛇行しながら乱流していました。地図(※)を見ると、
一ノ割駅の南側や武里駅の東側に、今の川筋とは違う「く」の字形の古い河道の跡(青いラ
イン)がくっきり残っています。また、武里小学校などがあるエリアは、川が土砂を運んで
できた自然堤防になっています。つまり、古利根川の今の川筋とは別に、かつてこの川は蛇
行しながら流れていたことが分かります。春日部の複雑で豊かな地形は、暴れ川だった古
利根川によって長い年月をかけて作られた歴史を物語っています。

(※国土地理院地形治水分類図より 備後付近)

もっと知りたくなったら

公共施設で学ぶ

地域の伝統と歴史資料を保存・発信している文化施設では、川の歴史をはじめ、民俗資料・考古
資料などを幅広く展示・公開しています。また、龍Q館では、首都圏外郭放水路の建設過程や、地
域の川の歴史、治水システムの仕組みを模型やパネルで学べます。

郷土資料館

時間 9:00~16:45
所在地 粕壁東3-2-15(教育
センター内)
休館日 (月、祝、年末年始、祝と
重なる月の翌日)
TEL 048-763-2455

※教育センターは令和8年10月から改
修工事のため、郷土資料館も休館と
なります

大仏文化交流センター 「ハルカイト」

時間 9:00~16:45
所在地 西宝珠花593
休館日 毎週火(祝の場合は
翌日以降の平日)、
年末年始
TEL 048-748-1833

首都圏外郭放水路 地底探検ミュージアム 「龍Q館」

時間 9:30~16:30
所在地 上金崎720
休館日 (月、年末年始)
TEL 048-746-0748

春日部の川の歴史について、興味を持ったら、ぜひ調べてみてくださ
い。市内にはあなたの「知りたい!」をサポートする施設や役立つ情報が
ありますよ。

市史で知る

『春日部市史 自然誌編』
土地の成り立ち、河川の移り変
わり、自然災害の記録などを地学
の視点からまとめた一冊。市役所
4階文化財課などで購入できる
他、市内の図書館や公民館でも
閲覧・貸し出しが可能です。



市 WEB で知る

市の歴史や文化財などについて
更新されている「ほごログ」。川
などの歴史についてだけではなく、文化財や郷土資料館の調査風
景など興味深いものも。



歩いて知る

現在、県の水辺再生プランを活用して遊
歩道や休憩所「川の駅ぶじつか」などが整備
され、さらに水辺に親しみやすくなってい
ます。古利根川沿いを歩く「古利根ウォーク」
もありますよ。もう少し涼し
くになったら、浴衣と麦わら帽
子でお散歩するのも風情が
あっていいですね。



▲古利根ウォーク

最後はそばなどを
食べて締め
くくのも◎

